

第2章 年表で見る ACCS 40年のあゆみ

■ ACCS 設立の経緯

筑波研究学園都市建設が進む昭和50年頃、研究機関や公務員宿舎などの大型建築物の影響と思われるテレビ放送の受信障害が顕在化し始めた。これらの諸問題に対して関係省庁が設置した連絡会では「有線テレビジョン放送施設による方法が妥当であり、CATV施設の設置、管理、運営は、財団法人を設置して行わせる。」という方針を示した。

この当時、学園都市のように大規模、且つ都市施設としての機能が役割付けられたCATVは他に例がなかった。敷設設備の有効的な活用が検討される中で、新たに設置される運営法人には、テレビの難視聴解消だけにとどまらず、自主制作番組を取り入れたテレビ放送施設の高度利用、将来の双方向サービスに繋がる新しい情報システムの開発や運用実験等が求められた。

様々な議論を経て、将来に向けた大きな期待を受け、1981年（昭和56年）8月1日、当時の国土庁・郵政省・建設省の許可を得た財団法人としてACCSが設立された。



昭和50年頃の学園都市

以下、ACCS設立から今日までの40年の歴史を、その年の印象的な出来事と共に振り返る。

■ ACCS 40年の年表

■ 1981年（昭和56年）

- 8月 財団法人研究学園都市コミュニティケーブルサービス設立
 - ・設立当初の事務所は土浦市の常陽銀行土浦支店ビル内に設置
- 10月 受信障害対策の対象6町村で説明会を開始（当時の大穂町、豊里町、谷田部町、桜村、筑波町、荃崎町）
- 12月 郵政大臣より第1期有線テレビジョン放送施設の設置許可

この年の出来事

- 4月 アメリカがスペースシャトルの初飛行に成功
- 4月 常盤自動車道 谷田部～柏 開通

■ 1982年（昭和57年）

- 5月 CATV施設（受信点、ヘッドエンド、地区センター等）の工事に着手
- 11月 試験再送信テストを開始

この年の出来事

- 4月 常盤自動車道 谷田部～千代田石岡 開通
- 6月 東北新幹線が開通（大宮～盛岡）

■1983年（昭和58年）

- 2月 最初の再送信放送を開始（VHF7局、UHF1局）
- 6月 FMラジオの再送信放送を開始（NHK FM、FM東京）
- 6月 事務所を桜村竹園に移転
(現つくば市)

この年の出来事

- 4月 東京ディズニーランドが開園
- 6月 つくばセンタービル 竣工



移転後の竹園事務所

■1984年（昭和59年）

- 11月 学園都市地区外の建物に引込工事を開始

この年の出来事

- 5月 NHK衛星第1テレビの試験放送が開始
- 8月 夏の甲子園で茨城県代表として取手二高が初の全国制覇

■1985年（昭和60年）

- 3月 日本初のホームターミナルを使用した多チャンネル放送開始（開始時は22ch）
- 3月 自主放送「ACCSチャンネル9」放送開始
- 7月 公務員宿舎 引込工事開始
- 11月 広報センター開設（つくばセンタービル1階）



広報センター外観



番組収録風景



ホームターミナル

この年の出来事

- 1月 常磐自動車道が東京と直結
- 3月 大型商業施設「クレオ」オープン
- 3月 国際科学技術博覧会（EXPO'85）開幕

■1986年（昭和61年）

- 1月 移転研究機関への引込工事を開始（建設省、宇宙センター、研究交流センター）
- 8月 日本初のスクランブル方式番組の放送開始（映画専門番組スターチャンネル）

この年の出来事

- 11月 伊豆大島の三原山が噴火 全島民が避難

■1987年（昭和62年）

- 3月 自主放送の番組表の新聞折込配布を開始
- 6月 CATVとして初の衛星利用の2元パネルディスカッション
- 8月 広報センター見学者1万人、スタジオ番組出演者千人 達成

この年の出来事

- 4月 つくばセンター～東京駅間で高速バス 運行開始
- 4月 国鉄が分割民営化。J R新会社が発足
- 11月 つくば市 発足（大穂町、豊里町、桜村、谷田部町の4町村）



新聞折込チラシ（1991年）

■1988年（昭和63年）

- 1月 つくば市初の市長選挙の開票速報特別番組を放送
- 8月 CATV網を利用したパソコン通信の実験運用を開始（一般公募の24名が参加）

この年の出来事

- 1月 筑波町がつくば市に編入
- 3月 青函トンネルが開業
- 4月 NTTがISDNサービスを開始

■1989年（平成元年）

- 8月 「CNN」が衛星配信により米国と同時放送開始

この年の出来事

- 1月 昭和天皇陛下崩御。新元号は「平成」
- 4月 消費税の導入（税率は3%）
- 11月 ベルリンの壁が崩壊

■1990年（平成2年）

- 4月 地上波テレビの受信設備を吾妻の公務員宿舍屋上から
つくば三井ビル屋上に移設

この年の出来事

- 6月 礼宮文仁親王ご成婚
12月 日本人初の宇宙飛行



つくば三井ビル

■1991年（平成3年）

- 2月 春日2丁目に維持管理センター竣工
8月 ACCS 創立10周年

この年の出来事

- 1月 湾岸戦争が開戦
4月 日本初の民間衛星放送「WOWOW」放送開始
6月 長崎県雲仙普賢岳で大規模火砕流
8月 ソビエト連邦が崩壊



維持管理センター

■1992年（平成4年）

- 3月 CATVでのデジタル通信のデモンストレーション

この年の出来事

- 9月 毛利衛宇宙飛行士がスペースシャトルで宇宙に

■1993年（平成5年）

- 3月 三省庁の対策協議会で受信障害対策事業の最終対象区域について了解

この年の出来事

- 6月 皇太子徳仁親王ご成婚
10月 学園都市30周年記念シンポジウムが開催

■1994年（平成6年）

9月 「まつりつくば」に初出店。テレビ受信相談や募金活動など

この年の出来事

- 7月 常磐新線沿線開発三者協議調印式
- 11月 ハイビジョン実用化試験放送 開始



まつりつくば参加の様子

■1995年（平成7年）

3月 受信障害対策地区以外へのサービス提供を開始（桜柴崎地区）

この年の出来事

- 1月 阪神・淡路大震災
- 3月 地下鉄サリン事件
- 10月 つくば市・土浦市で世界湖沼会議 開催

■1996年（平成8年）

5月 つくばウェルカムプラザ オープン（つくばバスターミナル内）

7月 CATV 高度化計画に関する調査研究を開始（600+R方式の開発）



実用化された「600+R」方式の幹線アンプ

この年の出来事

- 2月 棋士の羽生竜王が史上初の七冠
- 10月 日本初のCSデジタル放送パーフェクTV！ 放送開始



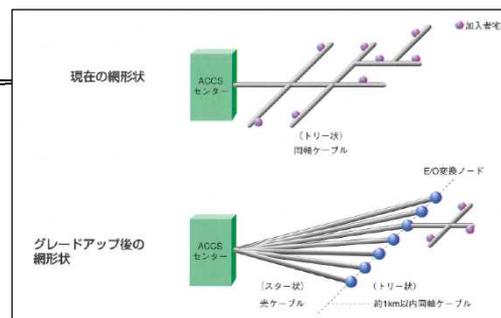
ウェルカムプラザ オープン式

■1997年（平成9年）

5月 最初のHFC（光同軸ハイブリット）幹線設備工事が完了

この年の出来事

- 4月 消費税が5%に
- 10月 長野新幹線開業



開発当時の資料によるHFC方式のイメージ図

■1998年（平成10年）

3月 受信障害対策事業における新規加入申込受付終了

この年の出来事

- 2月 長野県で冬季五輪が開催
- 5月 パーフェクTV!とJスカイBが合併し、スカイパーフェクTV!が誕生
- 6月 日本がサッカーワールドカップに初出場

■1999年（平成11年）

- 8月 学校インターネットサービス開始
(並木小、並木中、竹園西小、吾妻小、吾妻中、荊間小、松代小)
- 9月 郵政大臣より第一種電気通信事業者の許可を受ける

この年の出来事

- 9月 東海村の核燃料工場で国内初の臨界事故が発生

■2000年（平成12年）

- 4月 インターネット接続サービス『ACCSnet』開始
(下り 512kbps/上り 256kbps)
- 6月 ケーブルテレビ施設のHFC化の完了
- 7月 ACCSメディアプラザオープン(当時のつくばターミナルビル内)
- 12月 BSデジタル放送の再送信を開始
(同時に開始したデジアナ変換は2004年8月まで継続)



開始当時のケーブルモデム(MASPRO製)

この年の出来事

- 12月 NHK・民放各社がBSデジタル放送を開始



メディアプラザのマルチモニター

■2001年（平成13年）

- 5月 「市役所広報ニュース」(現在の「つくば市広報タイム」)放送開始
- 8月 ACCS創立20周年
- 9月 初のまつりつくば生中継

この年の出来事

- 2月 常磐新線の名称が「つくばエクスプレス」に決定

■2002年（平成14年）

4月 筑波研究学園都市記者会へ加盟

この年の出来事

6月 日韓共催による第17回サッカーワールドカップが開催

11月 茎崎町がつくば市に編入

■2003年（平成15年）

4月 NHK団体一括支払 取扱い開始

4月 自主放送「チャンネルつくば13」開始。自主放送が2チャンネル体制に

8月 地域ポータルサイト「つくばもん」の運用開始

12月 地上デジタル放送（NHK総合・東京）の再送信開始

この年の出来事

3月 圏央道一部区間が開通（つくばJCT～つくば牛久JCT）

12月 NHK・民放各社が地上デジタル放送を開始

■2004年（平成16年）

4月 認定期間満了による一般への移行開始

10月 地上デジタル放送（NHK茨城地域）の再送信開始

12月 地上デジタル放送（NHK教育、民放5波）の再送信開始

12月 デジタル放送対応CATVチューナー『セットトップボックス（STB）』提供開始



サービス提供開始当時のセットトップボックス(MASPRO製)

この年の出来事

10月 茨城県でNHK 県域デジタル放送が全国初の開局

■2005年（平成17年）

8月 つくばエクスプレス開業式典を特別番組として放送

この年の出来事

8月 つくばエクスプレスが開通

12月 つくば市の人口が20万人を突破

■2006年（平成18年）

8月 竹園事務所1階に営業コーナーを開設

この年の出来事

10月 携帯電話番号ポータビリティ制度開始



事務所1階営業コーナー

■2007年（平成19年）

6月 FTTH方式によるCATV事業を開始（大角豆地区の一部）

12月 BSデジタル放送の追加放送を実施 <BS11・TwelV・スターチャンネルHV>

この年の出来事

10月 日本郵政公社が廃止。日本郵政株式会社ほか4社が発足

■2008年（平成20年）

2月 ハードディスク内蔵型STBの提供を開始

6月 アナログ多チャンネル（ホームターミナル）放送の終了

8月 地上デジタル放送11chで自主制作番組の放送開始



当時のHDD内蔵型セットトップボックス（Panasonic製）

この年の出来事

7月 デジタル放送のコピー制御方式「ダビング10」が開始

■2009年（平成21年）

2月 KDDIと連携し固定電話『ケーブルプラス電話』サービス開始

この年の出来事

5月 裁判員制度が開始

7月 国際宇宙ステーションの日本の実験棟「きぼう」が完成

■2010年（平成22年）

- 2月 つくば市と「災害情報等の放送に関する協定」を締結
- 4月 自主放送（地上デジタル11ch）のハイビジョン放送開始
L字画面によるデータ放送も開始
- 4月 大型商業施設イーアスつくば内に「ACCSメディアプラザ」オープン
- 10月 ブルーレイドライブ内蔵型のSTBの提供を開始



ブルーレイ内蔵型セットトップボックス（Panasonic製）



L字画面のデータ放送



ACCSメディアプラザ

この年の出来事

- 5月 つくば市の新庁舎が研究学園地区に開庁
- 6月 小惑星探査機はやぶさが帰還

■2011年（平成23年）

- 1月 番組配信会社からの多チャンネル放送受信システムを衛星から地上光ネットワークへ変更
- 2月 多チャンネル放送でハイビジョン放送を開始（11番組）
- 3月 東日本大震災の災害情報提供の為、市内の外国人向けに「NHKワールドTV」を緊急放送
・2011年4月からは正式サービスとして開始
- 7月 ACCS創立30周年記念・東日本大震災復興支援NHK交響楽団コンサート開催（於ノバホール）
- 7月 地上アナログ放送配信を終了
・地上デジタル放送の「デジアナ変換」開始
- 11月 維持管理センターを改修し、春日センターとして整備



N響コンサート会場の様子

この年の出来事

- 3月 東日本大震災
- 7月 地上アナログ放送・BSアナログ放送 終了

■2012年（平成24年）

- 1月 「Wi-Fi モデム」 オプション提供開始
- 11月 東日本大震災チャリティ上映会 開催「映画『黒部の太陽』完全版」（於ノバホール）



会場風景

この年の出来事

- 3月 NTTドコモ 第2世代携帯電話サービス mova を終了

■2013年（平成25年）

- 2月 「au スマートバリュー」 開始
- 4月 一般財団法人へ移行
- 12月 新サービス「スマートワン」 開始
- 12月 筑波研究学園都市 閣議了解50周年記念番組を放送



スマートワンのパンフレット

この年の出来事

- 5月 NHK、在京民放各局が東京スカイツリーから本格放送開始
- 9月 2020年の夏季オリンピック開催地に東京が選出
- 9月 筑波研究学園都市 建設の閣議了解から50周年

■2014年（平成26年）

- 4月 料金・契約情報WEB照会システム「マイページ」提供開始
- 5月 F T T H方式のインターネットサービス提供開始（下り 300Mbps）
- 6月 地上デジタル101chで第2コミュニティチャンネルの放送開始
- 9月 中海テレビ放送（鳥取県米子市）の番組に ACCS アナウンサーが出演
- 10月 F T T H方式でBSパススルーサービス「BS プラス」提供開始

この年の出来事

- 3月 宇宙飛行士の若田光一さんが日本人初の国際宇宙ステーションの船長に就任
- 3月 長寿番組「笑っていいとも！」放送終了
- 4月 消費税が8%に

■2015年（平成27年）

- 3月 地上波デジアナ変換サービス終了
- 3月 自主制作番組用の4K対応カメラ、編集機器等を導入
- 6月 自主制作番組のネット配信を開始



デジアナ変換終了をお知らせするテレビCM画面

この年の出来事

- 8月 戦後70年の終戦の日
- 9月 ラグビーW杯イングランド大会で、日本代表が南アフリカ代表に勝利
- 10月 マイナンバー法施行

■2016年（平成28年）

- 1月 NTT東日本とのコラボレーションサービスの提供開始
- 6月 「G7 茨城・つくば科学技術大臣会合」特集を放送
- 7月 KDDI「生活あんしんサービス」の受付開始
- 10月 事務所をUR都市機構ビルからつくば三井ビルへ移転

この年の出来事

- 4月 電力小売完全自由化 開始
- 8月 「山の日」が新しい祝日に
- 9月 藤井聡太さん 史上最年少で将棋のプロ棋士に



移転後の受付窓口（2階）

■2017年（平成29年）

- 6月 県内CATV5局の共同制作による茨城県政情報番組「茨城県からのお知らせ」放送開始
・2018年からは「CHALLENGE IBARAKI」にリニューアル
- 8月 初めてつくば三井ビル特設スタジオから「まつりつくば2017」を生中継

この年の出来事

- 1月 大相撲 稀勢の里関が横綱昇進
- 3月 家庭用ゲーム機「ニンテンドースイッチ」発売



つくば三井ビル特設スタジオ

■2018年（平成30年）

- 2月 加入者向け電話サポート窓口を統一
- 10月 KDDI製の次世代STB「ケーブルプラスSTB」提供開始
- 10月 放送大学BS放送開始
- 12月 FTTHパススルーで新BS-4K放送開始



ケーブルプラスSTB(写真は現行機種)

この年の出来事

- 2月 将棋の羽生善治さんと囲碁の井山裕太さんに国民栄誉賞
- 10月 東京都中央区の築地市場が83年の歴史に幕

■2019年（平成31年・令和元年）

- 1月 事業継続計画（BCP）を策定
- 4月 新BS-4K放送対応のセットトップボックス提供開始
- 4月 東京ガスの電力サービス「ずっとも電気」販売開始
- 9月 茨城県ケーブルテレビ連絡協議会に加盟
- 10月 「いきいき茨城ゆめ国体」特別番組を県内CATV局と共同制作放送
- 11月 フリーアクセス電話を導入



新BS-4K放送対応STB（Panasonic製）

この年の出来事

- 4月 新元号「令和」発表
- 5月 天皇陛下が即位「令和」に改元
- 9月 ラグビーW杯日本大会開幕。日本が8強進出。
- 10月 消費税が10%に



ずっとも電気のチラシ

■2020年（令和2年）

- 3月 新型コロナウイルス関連番組「県知事緊急記者会見」「つくば市の取り組み」等を放送
- 5月 政府の緊急事態宣言を受けた窓口受付体制の変更等



手指用の消毒液



受付に設置したビニルシート

- 12月 自主制作番組の収録スタジオを春日センターへ移転



新スタジオでの収録風景

この年の出来事

- 3月 世界保健機関（WHO）が新型コロナウイルスのパンデミックを宣言
- 4月 7都府県に緊急事態宣言を初めて発令。16日に全国へ拡大
- 7月 藤井聡太棋士が17歳11カ月で棋聖戦を制し最年少で八大タイトルを獲得
- 10月 映画「劇場版『鬼滅の刃』無限列車編」公開。10日間で興行収入100億円を突破。

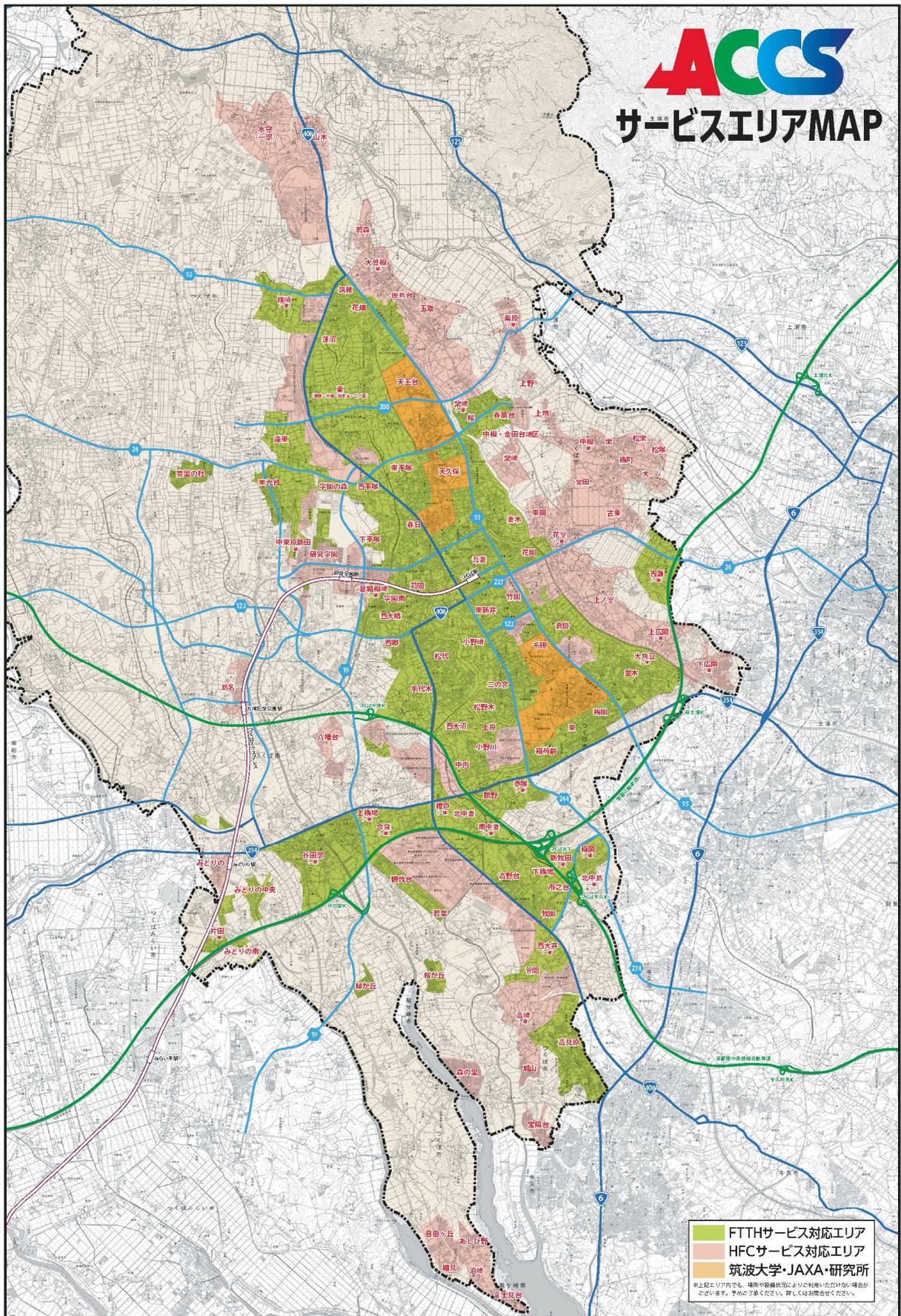
■2021年（令和3年）

- 2月 「スマートワン」にTVライトコースを追加
- 7月 東京オリンピック聖火リレー（つくば市）特集番組を放送
- 7月 初めて全国高等学校野球選手権 茨城大会を生中継放送（準々決勝～）
- 8月 ACCS創立40周年

この年の出来事

- 4月 松山英樹選手が男子ゴルフメジャー大会・マスターズ優勝
- 7月 MLB エンゼルスの大谷翔平選手がオールスターゲームに史上初の投打同時出場

【資料】 サービスエリアマップ (2021年6月 現在)



2021.6